

PIPEST NEWS VOL.7

すべての地域に管路診断システムを！

——第4回定時総会で2009年度事業計画を決定



▲総会では2009年度事業計画などが真剣に討議されました

▶「管路の老朽化は日々、着実に進行しています。安全で安心な暮らしを守るために、合理的かつ有効的な管路の維持管理を提案するのが我々に課された重要な課題です。我々の管路診断システムを用いれば管路の資産管理が可能になり、管路にかかる長期的なコストも削減できます。会員同士が力を合わせ、新しい事業にチャレンジしていきましょう」(会長: 鎌田敏郎)



2009年度の鍵は「普及宣伝活動」と「下水道長寿命化支援制度」

第4回定時総会を5月14日にホテルメトロポリタンエドモント(東京都千代田区)で開催し、2009年度事業計画などが満場一致で可決されました。管路診断システムへの関心が高まっている現在の好機を逃すことのないよう、普及宣伝活動を全国的に活性化させることを最大の課題として取り組むことが確認されました。また、昨年度から国土交通省下水道部がスタートさせた「下水道長寿命化支援制度」を踏まえた事業提案など、独自性のある活動を展開します。

主な2009年度事業計画

- ① ホームページ再改訂
- ② デモ奨励金の継続とPR
- ③ 説明会やデモに各委員派遣
- ④ (社)地域資源循環技術センターへのマニュアル作成参加
- ⑤ 下水道展への参加
- ⑥ 会員拡大
- ⑦ 下水道長寿命化支援制度と絡めたモデルケース作成
- ⑧ 日本管路更生工法品質確保協会との共同実験(衝撃弾性波法を標準検査手法のベンチ入り)

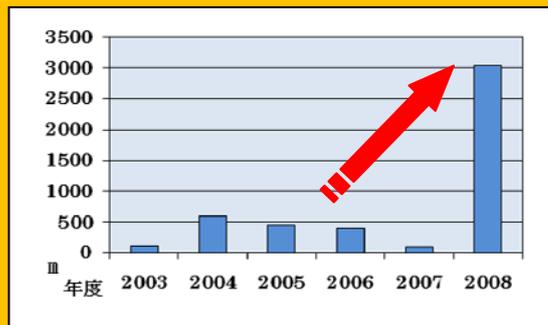
役員を改選しました

	氏名	社名
会長	鎌田敏郎	大阪大学
副会長	堂々功	日本水工設計
理事	真田元清	積水化学工業
	川藤孝之	東亜グラウト工業
	高須武	フォレスト コンサルタント
	後藤清	ペンタフ
監事	中村康徳	アクア美保
	森岡真一	日本ノーディング テクノロジー

調査実績が順調に拡大しています —— 出来形診断が急増、劣化診断は微増



■劣化診断



■出来形診断

機能診断 (08年度)

流量	19件
面速	6件
その他	5件

衝撃弾性波検査法を使った 計画的な管路改築事業を提案します

管路の健全度診断に最適

下水道管路延長は、地球約 10 周分に相当する 40 万 km に達すると言われています。管路の老朽化が下水道サービスに支障をきたすことのないよう、まずは現状の管路の健全度を的確に把握し、計画的な改築事業につなげなければなりません。

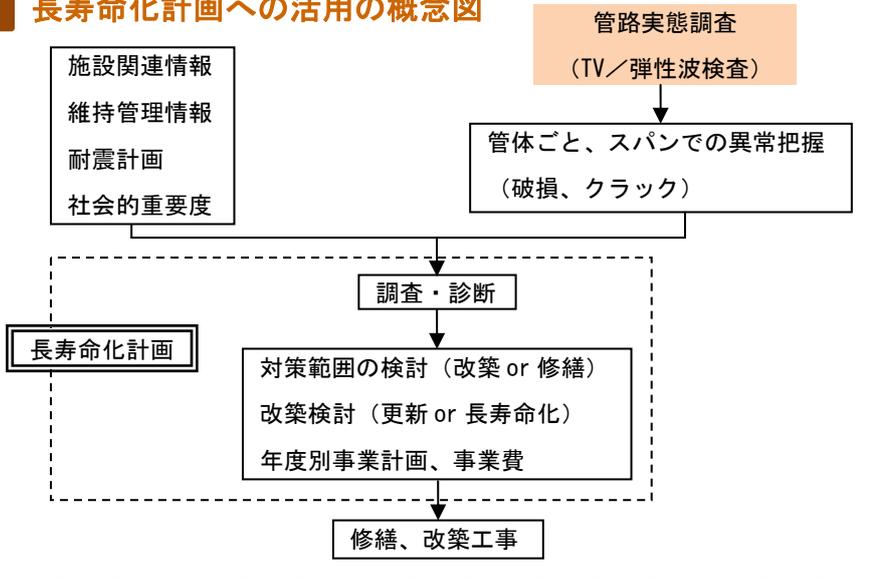
PQUEST の衝撃弾性波検査技術は健全度を定量化できる調査・診断技術であり、①道路陥没による人身事故未然防止、②施設の長寿命化、③ライフサイクルコスト低減、④更新時期の平準化、⑤予防保全型維持管理への対応一などに貢献できます。

長寿命化支援制度への展開

下水道管路施設は、①道路陥没、②雨天時浸入水、③耐震化一など様々な課題を抱えています。これらは相互に関連しあっているため、道路陥没対策によって浸入水防止や耐震性を向上することもできます。「下水道長寿命化計画支援制度」では、このような様々な側面から管路の健全度を向上する計画が求められています。

長寿命化計画の出発点は現状把握です。ここに衝撃弾性波検査技術を活用できます。テレビカメラと融合した総合的な劣化診断や改善手法を積極的に提案してまいります。

長寿命化計画への活用の概念図



Q&A 「下水道長寿命化支援制度」って何？

管路などの下水道施設はこれまで、場当たり的に改築が行われることが多く、1 件ごとの修繕規模が大きくなりがちでした。しかし、施設が致命傷を負う前に計画的に改築することで、1 件ごとの修繕規模は小さくて済み、施設も長持ちし、ライフサイクルコストを抑制できます。この

ような計画的な改築計画を支援するのが「下水道長寿命化支援制度」です。国土交通省下水道部により平成 20 年度に創設されました。

長寿命化計画の立案に欠かせない管路の現状調査において、PQUEST の管路診断システムが活用されるものと期待しています。



事務局便り

第 4 回定時総会を無事に終えることができ、会員各位に御礼申し上げます。2006 年度に減少した調査実績もその後は順調に拡大しており、特に出来形診断は 2008 年度に目覚ましい伸びを記録しました。会員の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

しかしながら、地域ごとに普及宣伝活動に温度差が見られるのも現状です。事務局といたしましては、この温度差をなくし、より熱い活動を全国に波及できるよう、2009 年度はこれまでも増して会員支援や普及宣伝活動に力を入れる所存です。ホームページも有効活用して参りますので、一層のご協力をお願いいたします。

ビケスト協会

<会長>

鎌田敏郎 (国立大学法人大阪大学)

<会員>

株式会社青山組、株式会社アクア美保、芦森工業株式会社、足立建設工業株式会社、株式会社エスアンドエムテクニカルサービス、エスジーシー下水道センター株式会社、エフアールピーサポートサービス株式会社、株式会社遠藤設計事務所、鵬技術コンサルタント株式会社、管修リサーチ株式会社、窪田建設株式会社、小林土木株式会社、株式会社島根サニタリ、株式会社湘南合成樹脂製作所、株式会社新日、積水化学工業株式会社、東亜グラウト工業株式会社、東洋建設株式会社、東洋地工株式会社、有限会社日本機工、日本水工設計株式会社、株式会社日本水工コンサルタント、日本ノーディングテクノロジー株式会社、八尾産業株式会社、フォレストコンサルタント株式会社、藤野興業株式会社、株式会社フジヤマ、ペンタフ株式会社、丸伸企業株式会社、株式会社みなと、株式会社ヤマウチ (50 音順)

ビケストニュース V01.7

2009 年 6 月 22 日発行

発行:ビケスト協会 広報委員会

〒105-8450 東京都港区虎ノ門 2-3-17

虎ノ門 2 丁目タワー

積水化学工業株式会社内

Tel.03-5511-0034